



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部副本部長兼総務広報部長 (氏名) 片野 博雄

TEL 06-6469-3000

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	54,059	10.4	467		393		345	
2020年3月期第2四半期	60,352	1.6	25		37	69.0	24	91.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 220百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 79百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	25.14	
2020年3月期第2四半期	1.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,565	6,542	33.4
2020年3月期	19,963	6,831	34.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,542百万円 2020年3月期 6,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	8.0	330		150		130		9.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	13,774,819 株	2020年3月期	13,774,819 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	49,936 株	2020年3月期	49,931 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	13,724,886 株	2020年3月期2Q	13,724,894 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が大幅に停滞したことにより企業収益は大きく落ち込みました。緊急事態宣言解除後は、経済活動が徐々に再開したことで、景気は底を打ったものの本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい状況となりました。

当水産流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛で巣ごもり消費が拡大したことに伴い、内食需要はやや伸びたものの、飲食店の利用自粛は今も続いており、外食需要は大きく落ち込みました。新型コロナウイルス感染症の影響により減少した水産物の流通は、未だに回復しておらず厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は540億59百万円（前年同期比62億92百万円減）となりました。損益面では、本日付当社開示「貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ、2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり、貸倒引当金繰入額3億34百万円（当社の販売先の財政状態および経営成績を勘案し、同社への営業債権に対する個別引当金2億54百万円および当該処理により貸倒実績率が上昇したことに伴う一般債権に対する引当金80百万円）が発生した結果、営業損失は4億67百万円（前年同期は営業損失25百万円）、経常損失は3億93百万円（前年同期は経常利益37百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響は緊急事態宣言時のピークを過ぎたものの、養殖マダイ他、高価格帯の天然鮮魚商材を中心に、前四半期と変わらず厳しい販売環境が続いております。また、当第2四半期の主力商材として期待していたサンマ等の青魚につきましても不漁などの影響により販売が伸び悩み、その結果、売上高は539億70百万円（前年同期比62億89百万円減）となり、上記のとおり貸倒引当金繰入額を計上したこと等により、セグメント損失は3億70百万円（前年同期は61百万円のセグメント利益）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高が1億16百万円（前年同期比6百万円減）となり、セグメント損失は2百万円（前年同期は0百万円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億98百万円減少し、195億65百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が3億65百万円、投資有価証券が2億12百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が4億91百万円減少、貸倒引当金が3億18百万円増加（資産合計に対しては減少）したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億8百万円減少し、130億22百万円となりました。これは短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が2億23百万円、役員退職慰労引当金が1億12百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億89百万円減少し、65億42百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が1億46百万円増加した一方で、利益剰余金が4億13百万円減少したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、22億54百万円（前年同期比92百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による資金の減少（3億44百万円）、仕入債務の減少による資金の減少（2億94百万円）、たな卸資産の減少による資金の増加（1億72百万円）、貸倒引当金の増加による資金の増加（3億16百万円）、役員退職慰労引当金の減少による資金の減少（1億12百万円）等により5億58百万円の支出（前年同期は15億27百万円の支出）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による資金の減少（52百万円）、定期預金の預入による資金の減少（2億円）等により2億60百万円の支出（前年同期は2億98百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による資金の増加（2億円）、配当金の支払による資金の減少（68百万円）等により1億28百万円の収入（前年同期は3億30百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が当社グループの業績に与える影響について合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を公表いたしました。

詳細については、本日（2020年11月5日）公表いたしました「貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ、2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945	2,454
受取手形及び売掛金	7,698	8,063
商品及び製品	3,545	3,379
短期貸付金	300	300
未収消費税等	141	138
その他	171	201
貸倒引当金	△15	△348
流動資産合計	14,788	14,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	853	829
土地	1,723	1,723
その他 (純額)	202	217
有形固定資産合計	2,778	2,770
無形固定資産		
	74	83
投資その他の資産		
投資有価証券	2,054	2,266
長期貸付金	365	362
破産更生債権等	655	645
固定化営業債権	800	792
繰延税金資産	21	20
その他	135	130
貸倒引当金	△1,711	△1,696
投資その他の資産合計	2,322	2,522
固定資産合計	5,175	5,376
資産合計	19,963	19,565

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,728	6,505
短期借入金	1,450	1,650
1年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	392	481
未払法人税等	104	32
賞与引当金	151	145
その他	297	248
流動負債合計	9,375	9,313
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	269	265
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	230	117
退職給付に係る負債	1,630	1,686
その他	374	388
固定負債合計	3,756	3,709
負債合計	13,131	13,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,145	2,731
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,975	5,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	811
繰延ヘッジ損益	7	△12
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	△34	△35
その他の包括利益累計額合計	856	980
純資産合計	6,831	6,542
負債純資産合計	19,963	19,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	60,352	54,059
売上原価	57,035	50,880
売上総利益	3,317	3,179
販売費及び一般管理費	3,342	3,646
営業損失(△)	△25	△467
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	35	37
受取賃貸料	64	80
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	13	9
営業外収益合計	119	130
営業外費用		
支払利息	9	9
賃貸費用	39	45
その他	8	1
営業外費用合計	57	56
経常利益又は経常損失(△)	37	△393
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
減損損失	7	7
特別損失合計	7	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30	△400
法人税、住民税及び事業税	27	△2
法人税等調整額	△21	△52
法人税等合計	5	△55
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24	△345
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△345

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	24	△345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	146
繰延ヘッジ損益	△3	△20
退職給付に係る調整額	△7	△1
その他の包括利益合計	△103	124
四半期包括利益	△79	△220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79	△220
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30	△400
減価償却費	73	67
のれん償却額	-	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16	△112
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	316
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	44
受取利息及び受取配当金	△38	△40
支払利息	9	9
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△0
減損損失	7	7
売上債権の増減額(△は増加)	843	△344
たな卸資産の増減額(△は増加)	△545	172
その他営業債権の増減額(△は増加)	△48	△22
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,797	△294
その他営業債務の増減額(△は減少)	△61	78
未収消費税等の増減額(△は増加)	△11	3
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4	△11
その他	△10	△1
小計	△1,561	△535
利息及び配当金の受取額	57	56
利息の支払額	△10	△9
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12	△69
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,527	△558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△200
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	-	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△7
有形固定資産の取得による支出	△208	△52
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△9	△1
貸付けによる支出	△85	△60
貸付金の回収による収入	10	64
その他投資の取得による支出	△1	△0
その他投資の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	499	200
長期借入金の返済による支出	△83	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△81	△68
リース債務の返済による支出	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	330	128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,494	△691
現金及び現金同等物の期首残高	3,657	2,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,162	2,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

株式会社別府魚市の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間の期首より同社を連結の範囲に含めております。なお、同社は特定子会社には該当いたしません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,259	93	60,352	—	60,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	60,259	122	60,382	△29	60,352
セグメント利益又は損失(△)	61	△0	60	△85	△25

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△85百万円のうち、△85百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,970	89	54,059	—	54,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	△26	—
計	53,970	116	54,086	△26	54,059
セグメント損失(△)	△370	△2	△373	△94	△467

(注) 1. セグメント損失の調整額△94百万円のうち、△90百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、△4百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

水産物販売事業セグメントにおいて、株式会社府魚市の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんを16百万円計上しております。